



走って、滑って、食べて
カルルスの冬、満喫

2011カルルス温泉冬まつり

3/6

3月6日(日)、『2011カルルス温泉冬まつり』(同実行委員会主催)がカルルス温泉サンライバスキースタジアムで開催され、市民など1千800人が参加しました。

当日はさまざまな催しが行われ、親子で滑り降りる速さを競う『親子ボブスレー』や、投げた雪玉が穴に入ると賞品がもらえる『ストライクワン』には長蛇の列ができました。

また、『雪中みかん拾い』では、子どもたちが、みかんを目掛けてゲレンデを駆け上がり、登別市長杯・和歌賞少年スキー大会では、選手たちがスピード感溢れる滑りを披露するなど、それぞれがカルルスの冬を楽しみました。

午後からは、地元の食材を使用した三平汁が登別・白老地域マリンビジョン協議会と登別市地区赤十字奉仕団の協力により振る舞われ、参加者たちは冷え切った身体を温めていました。



▲市長から卒業証書を受け取る卒業生代表(左)

学習成果を

まちづくり

2/18

登別市ときめき大学・婦人短期大学卒業式

2月18日(金)、市民会館で『平成22年度登別市ときめき大学・婦人短期大学卒業式及び修了式』が行われました。

今年の卒業者は、ときめき大学15人、婦人短期大学3人の計18人。生徒は、健康や文化、郷土史など、さまざまな分野で学習し知識を広げてきました。

総長の小笠原市長から代表者に卒業証書が手渡された後、卒業生を代表して今野勇治さんが「学習成果を少しでも住み良いまちづくりに役立てたい」と謝辞を述べ、決意を新たにしていました。